

グラフィックサービス

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

ジャグラは一般財団法人日本情報経済
社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です



GS No.807 2019.02 グラフィックサービス

GS No.807
2019
02

月刊
グラフィックサービス
No.807
2019
02

■ 巻頭企画

2019年の印刷業界を取り巻く IT・IoT動向を俯瞰する

(一社)城西コンサルタントグループ会長 神谷俊彦

■ 特別企画

CSR委員会・環境部会が 東京都三鷹市・(株)文伸を訪問!

2017&2018 年 日印産連・GP マーク普及準大賞 受賞企業

■ 新連載

初心者のためのウェブマーケティング入門①

■ NEWSとお知らせ

消費税率の引上げに伴う価格設定について ガイドラインが公表されました

●発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
●年間購読料 12,960 円 (会員の購読料は会費に含む) ●Copyright 2019 JaGra
TEL 03-3667-2271 FAX 03-3661-9006 <https://www.jagra.or.jp/>



GS
JaGra

電子版公開中！
スマホでも本誌が読めます
公式HPにて本誌PDF版を公開
中。紙媒体より1週間早い毎月中
旬にご覧いただけます。バックナ
ンバー閲覧もここから！



なかむら通信

読者の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。会長の中村耀です。

2月6日から8日まで東京・池袋サンシャインシティのコンベンションセンターで開催されたJAGAT主催の印刷機材展Page2019は「デジタル×紙×マーケティング」がテーマでした。私たちの仕事は紙媒体が主体ですが、スマートフォンなどが普及してデジタル技術がここまで進歩するなか、これを活用しない手はありません。顧客視点のマーケティングに、デジタルと紙を掛け合わせて仕事を創っていくことが私たちに求められています。

先日開催されたビジネス推進委員会では、具体的なビジネスを創造する前段階として、これまでの仕事を一度見直し、お客様に私たちが何を提案してきたのか、そしてこれから提供し続けることができるのかを洗い出そうという話が出ていました。委員会にはまだ本部の活動でお見かけしていないメンバーも入っており、岡本副会長をはじめ、皆さんが活発に意見を交わす姿を見て、頼もしさを感じました。

用紙価格の値上げや消費税増税など厳しい現実もありますが、もっと前向きな姿勢で、自分の会社が今よりもさらに良くなることを想像しましょう。そうしたプラス思考がきっと新たなビジネスの創造につながるはずです。

C・O・N・T・E・N・T・S

● 巻頭言

01 『だいじだいじ仲間が、いっぺ!』 仲間の参加が最終完成

—— 第61回ジャグラ文化典栃木大会 実行委員長 宮本 誠

● 巻頭企画

02 特別寄稿 2019 年の印刷業界を取り巻く IT・IoT 動向を俯瞰する ～ジャグラの飛躍に向けて～

—— (一社)城西コンサルタントグループ会長 神谷 俊彦

● 特別企画

06 CSR委員会・環境部会が 東京都三鷹市・(株)文伸を訪問！

—— 2017&2018年 日印産連・GPマーク普及準大賞 受賞企業

● 連載・シリーズ

10 新連載 初心者のためのウェブマーケティング入門① ～ウェブマーケティングの重要性～

—— ジャグラ事務局/Web担当 阿部奈津子

26 需要創出を考える⑬ 図録の価値を考える 地域の歴史を紡ぐ印刷会社の役割

—— トーバン印刷(株)(岩手県支部) 佐藤 和恵

● NEWSとお知らせ

05 ジャグラ文化典栃木大会のご案内

14 消費税率の引上げに伴う価格設定について

—— ガイドラインが公表されました！

14 トピックス 知ってましたか？「印青連体操 第一」

—— 印刷各工程の動きをひとつひとつ取り入れた準備体操

22 業界の動き 各地で新年会が開催される

29 ジャグラBB HOTNEWS

12 法親会のご案内

18 書籍案内

25 ご案内

27 コラム

28 事務局日誌と今後のスケジュール

ジャグリスト

『だいじだいじ仲間が、いっぺ!』 仲間の参加が最終完成

第61回ジャグラ文化典栃木大会 実行委員長 宮本 誠



2月9日、土曜日。記録的な快晴の日が続いた関東に雪が降りました。第61回ジャグラ文化典開催の地、栃木県宇都宮市に関東地協各支部の支部長と、栃木支部の実行委員メンバーが集結しました。6月に迫った大会実施に向けてのホテル、食事、観光の下見ツアーを開催。足下の悪い中、実費での参加にもかかわらず各支部長欠席も無く、お隣の茨城からは副支部長も来ていただき頼もしいかぎりです。

2016年7月9日、栃木支部の総会。「2019年の文化典の開催を引き受けたいと思います。」支部メンバーの反応は不安も多かったと思いますが、可決とはならず再検討となりました。振りかえれば支部長を引き継いで一年も経たず、総会の運営もままならない私と若いメンバー。引き受けた理由が「未知の経験を私たちの成長に！」との身勝手な理由に納得を貰えるほどの実力も実績も持ち合わせていない若いメンバーの全国大会の受託は若気の至り……。振りかえってもあの時の反対意見は真つ当な親心であり、感謝の思いです。2017年、岩手大会の視察を終えた私たち実行委員会メンバーの後悔は頂点に。随所に見える復興と感謝の熱い想いに、綿密な進行。楽しく、圧巻の懇親会に「僕たちに出来るのか？」と複雑な思いで仰ぎ見ていたことを覚えています。それは同行したメンバーも同じだったようで……。あらためて、足りない力を補いながら活動して行くことを誓いました。

焦る私たちの思いを払拭するために岡澤運営委員長は熊谷東北地協会長に指導を兼ねた親睦会を依頼して下さいました。2017年9月8日秋田への訪問。熊谷会長に秋田支部の皆さん、盛岡から大会実働立役者の向井さんと戸来さんが沢山の資料を持って、泊まりがけで来て下さいました。温かな熊谷会長のペースで始まった懇親会も、向井さんと戸来さんの大会に向けた熱い思いを聞くにつれ、お二人の前で正座でご教示いただく私たちがいました。

用意していただいた几帳面な資料には、幾度と開催された会議の議事録、分刻みで緻密に構成された当日のスケジュールなどなど、またもや「僕たちに出来る

のか？」と感謝と共に不安に苛まれたのですが、お二人には現在に到るまで幾度となく相談に乗っていただき、毎回励ましの言葉も掛けていただいています。

そんな不安だらけの二年前でしたが、解消するにはメンバーとの話し合いで、一つ一つ決定事項を重ねること以外には無く、その為にも福岡大会も含め実行委員会の先輩達が残してくれた資料は、手探りで進める中で心強いマニュアルとなっています。昨年の福岡大会では無理を言って大会前の準備を手伝わせていただき現場のリアル感を体験させていただきました。

大会まで半年を切った昨年末、表面的には企画も纏まってきたところでしたが「ここが中だるみの時期」と、盛岡大会副運営委員長であった宮城の大橋さんが、菅野東グラ会長と谷口城東支部長を誘い、私たちの会議に駆けつけていただきました。笑いの中にも流石のキラリと光る意見で、私たちもあらためて気が引き締まる機会を作っていただきました。大会も4か月後に迫り、ここからが正念場と思いますが、中村会長をはじめとした全国のジャグリスト、冲専務に本部の方々、他にも書き切れない沢山の方からご指導をいただけてきました。未熟な私たちが自分達へのエールも含めて掲げた大会スローガン『だいじだいじ仲間が、いっぺ!』皆さんの助けを受けて私たちも一歩ずつ成長し自信も付いてきています。いただいた期待を心地よいプレッシャーに変えて、大会への道のりを楽しんで進みたいと思っております。

全国の皆さまが栃木にお越しただいて「仲間っていいな」「ジャグリストっていいな」と、私たちが今、感じている思いを共有していただけることで大会の成功となります。皆さまのご参加を実行委員会一同心から、お待ちしております。

(※だいじは大丈夫・いっぺは居るの方言)

WEBで最新情報を！

<http://jagratochigi.wixsite.com/yasanichi>

栃木大会
ホームページ



栃木大会
Facebook



5 ページの記事もご覧ください

2019年の印刷業界を取り巻くIT・IoT動向を俯瞰する

～ジャグラの飛躍に向けて～



(一社)城西コンサルタントグループ
会長 神谷俊彦

世界の中に多くの不安を抱えたまま新しい年を迎えました。米中関係、中国経済の減速、英国のEU離脱、フランスを中心に吹き荒れる過激デモ、朝鮮半島・日韓関係など簡単に解決しそうにない問題が続いていますので、2019年はどうなっていくのか楽観ができない状態です。こういう環境は経営者にとっても大変です。一方でいつ崩れてもおかしくないと言いながらも企業業績は堅調だと言われています。一時的に落ちた株価も落ち着いている状況です。

本寄稿はこのような状況を踏まえ、印刷業界を取り巻くマクロ環境的な視点からIT技術を俯瞰し、未来につながる活動についての提言です。

×

2019年の話題

政府・自民党にとって悪いニュースは続いているのですが、必死に戦って大きな崩壊には至っていないとも言えます。ただ、経済環境が揺らいでいる事実は明確です。このような変動の中での中小企業の問題は何かということになると、先行き厳しい中での売上・利益の向上は当然で、そのための人手不足と働き方改革（生産性向上）がどの企業にとっても大きな課題です。生産性向上など決して新しいテーマではなく、今までずっと絶え間なく努力されてきたはずなのに、2019年の今も課題となっています。なぜこうなるの

でしょうか？

主要因は社会環境の変化です。過去の生産性向上目的と言えば「コストダウン」でした。今は「働き方改革」の方が主目的になっています。人手不足対策や働き方改革の取組は企業によって違いはありますが、人材確保が難しい状況で効率をあげるのに自動化に依存するのは共通しています。特にIT活用やロボットによる業務効率改善は、どの企業にとっても主要テーマです。

環境変化のもう一つの要因はIT技術の進展です。IT技術活用は昔から言われていますが、今活用できる技術は過去と比べても飛躍的に機能性に富み、低価格となっていて、どんな企業にとっても手に届くものです。魅力的でポテンシャルの高さと多様性を備えているアプリケーションが豊富になりました。

今年の展望ということで新年の企業トップの言葉をみましても、ほぼ全員がIT技術を中心としたイノベーションに期待するという内容になっています。2018年を振り返っても「IoT」や「クラウド」などが注目技術やトレンドとして君臨している事実を考えると、今年もまったく変わらない図式のようにみえます。それだけIT（含むIoT）というのは日常生活や企業に深く浸透し、改革に寄与するだけの内容を伴っています。2019年もIT・IoTに関する話題はつきないと思います。

IT・IoT動向

しかし私が最前線の企業に出向いてみると、そこまで注目されているIT、IoT技術に対しての2つの現実には直面します。

◎IT、IoTが正しく理解されていないもしくは把握されていないこと。

◎自社のIT、IoT能力を十分に活用されていないこと。各々の理由を分析する前に、技術について知識共有を行いたいと思います。

IT（含むIoT）導入による改革が成功しない理由の一つとしてよく言われるのは、「導入の目的がはっきりしない」です。IT導入の目的明確化は大事なことですし、そこを明確にすることで導入に成功した事例も多くあります。しかしながら成功企業であっても依然として手入力作業は残っており、IT改善課題はつきないという企業が多くあるのも事実です。そのような時には一度原点に戻ってほしいと思います。すなわち「IT導入の目的は紙の削減にある」ということです。

IT導入しても依然として紙の指示書や報告書が必要であれば、問題は解決せず問題が残ったと考えるべきです。製造工程や営業現場にタブレット端末を持ち込んで紙の作業をなくす会社は珍しくなくなってきましたが、一旦導入してもしばらくたったら使われなくなっていた事例も多くあります。しみついた紙の文化をなくすことは相当な覚悟と努力が必要です。

次に確認しておきたいことが生産性向上のためのサイクルです。最新鋭の機械やAI・IoTを導入しても「改善のサイクル」を持たないと会社はよくなっていきません。IoTや最新鋭機械に投資することを躊躇する理由は、「サイクル」が不明確で導入効果が見えないの一言に尽きるということです。

IT・IoT技術でなぜ生産性が向上するのか？

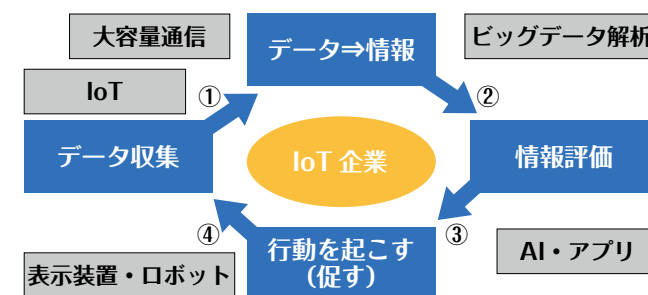
成功している事例をみるとIoTでつながっていることで生産革新を産み出しています。その基本的な考え方を以下の図に示します。

この図では

①データを収集して大量にデータを蓄積。

②蓄積（収集）されたデータを価値ある情報に変えて

2019年の印刷業界を取り巻くIT・IoT動向を俯瞰する



いく。

③情報の価値を評価して判断する。

④判断を基に人々の行動を促していく。

ぐるぐる回りの構造が重要な鍵です。単純にぐるぐる回っているのではなく、企業（あるいは社会全体）をどんどん良くしていく構造を意味しています。裏返せば良くならないと意味のないシステムということになります。

2019年でもIoTは核となるトレンドで間違いありません。1月の新聞・雑誌記事だけでもIoTがあふれています。しかしよく読んでみると、セキュリティ・センサー・ビッグデータ解析・AIなど、図で示した個々の技術のことだけでなく、IoTビジネスの方法・IoTを支える半導体の作り方・IoTによる家庭生活等々何から何までIoTに結び付けています。これでは何がポイントになるかヒントができません。自社の革新を行うには、飾り物を取り除き、本質的な部分を核としたテーマ設定を実行しなければなりません。これからIoT導入計画を検討する企業、IoTのサイクルが未完成の企業は、IoTの本質を外さない改革計画を今一度考慮してみてください。

注目される技術

IoTシステムの中では①～④の各々で今も技術革新が生まれています。

2019年に注目される技術は、②大容量通信の5G技術です。現在スマホで使われている4Gの次世代通信技術です。通信容量が飛躍的に増大する技術で、2020年に実用化することが決まっています。重い印刷データも一瞬で移動してしまいます。今年は様々な通信技術がさらに発達し、技術を活用したサービスも含めて市場が増えていくはずで

他には④ロボット・ドローンです。特にロボットは日本の技術がさらに伸びていきます。IoT にとってどうしても人手が必要なのがこの最後④の「行動をする」部分です。いくら AI・IoT だと言っても現場を変えなければ改善は進みません。簡単に人が雇えない時代になっているのですから、その部分をロボットで埋めていくしかないというのが現実です。今回は発達しているロボットやドローンの実例をご紹介しますことは難しいですが、技術とそれを使ったサービスはすでに幅広く発表され容易に検索できます。参考にしてみてください。

生産性改革手法と IT

業務改善を目指した IT 導入について最後に手法について書きます。決して新しい概念ではなくシンプルです。

現状の分析（見える化）

→問題・課題の発掘

→改善提案・項目のリストアップ

ここで言いたいことは、トップに来る現状分析に IT 技術を大いに活用するべきという点です。改善の一步は現状がどうなっているのか知ることですが、現状の分析のやり方をみると感覚やストップウォッチなどのアナログ的手法に頼る例が未だに多くあります。せっかく安価で便利な作業分析・動線解析ツールが豊富に出ているのに活用しない手はありません。現場を

正しく見てチームで討議をすれば解決しない問題はありません。また、近年「ビジネスインテリジェンスツール（BI ツール）」が増加しています。企業に蓄積された大量のデータを集めて分析し、迅速な意思決定を助けるためのツールです。経営管理や売上のシミュレーションなど経営者向けに開発されたのがきっかけですが、近年は生産や営業の現場向きやマーケティングなどに応用され裾野が広がっています。

情報システムの構築時には色々な業務ソフトの中心に添えている事例が多くなりました。IoT の思想と同じく、大量のデータを集めて整理し、迅速で正確な判断に使うというものです。日本企業の特徴として「結論ありき」で行動することはよくあります。思い込みや勘で行動を起こさないためには、IT の力を使って安価で容易に正しいデータが得られるよう工夫することです。

×

以上、企業改善計画の参考になる IT 技術のヒントを示しましたが、今回はソリューションの一面にすぎないことをご了解ください。多くの企業では、気づく気づかないは別として、IT 武装化が着実に進んでいます。印刷機器も BI ツールや IoT 機能が組み込まれているものが始まっています。注意して現状を点検しなおすだけで、改善サイクルが目に見えて進化することは十分ありうることと思っています。皆様の参考になれば幸いです。



■筆者プロフィール 昭和 28 年生まれ。昭和 51 年、大阪大学基礎工学部卒業後、富士写真フイルム(株)で生産システム開発・マーケティングを担当。平成 25 年に独立し、講師・コンサルタント活動を開始。平成 28 年、(一社)城西コンサルタントグループ(100 人の中小企業診断士のほか、税理士・弁護士・社労士など経営コンサルタント集団 <http://jcg-net.com/>)の代表理事に就任。エネルギー管理士、中小企業診断士、IT コーディネータ、M&A シニアエキスパート。詳細は下記ご参照ください <https://cybozulive.com/profile/kamiya>

第61回ジャグラ文化典



栃木大会

6月7日・8日・9日



ジャグリスト

大会スローガン

だいじだいじ 仲間がいっぺ

大丈夫、大丈夫 ジャグリストがいるよ

お願い

皆さまのお早めのお申し込みを心よりお待ちしております！

栃木支部一同



WEBで最新情報を！ <http://jagratochigi.wixsite.com/yasanichi>

CSR委員会・環境部会が 東京都三鷹市・(株)文伸を訪問！

2017&2018年 日印産連・GPマーク普及準大賞 受賞企業



ジャグラBB
好評配信中

ジャグラ CSR 委員会（尾形文貴委員長）環境部会は、2015 年に GP 工場認定を取得後、2017 & 2018 年度の日印産連・GP マーク普及準大賞を受賞した東京都・三多摩支部の(株)文伸（川井信良社長）を昨年末に訪問し、同社の環境対応を視察しました。GP マーク普及大賞において同社が準大賞を連続受賞したことは快挙です。なお、視察の様子はジャグラ BB でも配信していますので、それも併せてご覧ください。



委員会の皆さんと川井・(株)文伸会長（中央）と川井社長（その右隣）



GP マークと普及準大賞の盾と賞状



富士フィルムの現像レス CTP



地震対策を施した保管場所



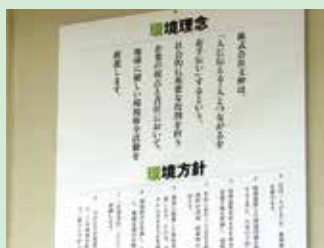
VOC 対策を徹底している



ゴミ分別・室温管理は環境対応の基本（その他に LED 照明化も実施）



5S + 整備 + スマイルの 7S を実施



自費出版に力を入れている



「進化し続ける印刷会社」と PR

InterView



(株)文伸
川井信良 社長

(株)文伸
有馬靖了 工場長



本訪問記はジャグラBBで好評配信中です

——今日は 2017 年と 2018 年に GP マーク普及準大賞を連続受賞された、東京三多摩支部の(株)文伸さんにお伺いしました。今回の受賞は GP マーク付与件数や総枚数などが全国ベスト 5 になったことが評価されたものです。同社の川井信良社長、有馬靖了工場長に環境対応についてお聞きます。よろしくお願いします。

■川井・有馬 こちらこそよろしくお願いします。

——まず始めに、文伸さんのご紹介をお願いします。

■川井 弊社は昭和 37 年、東京千駄ヶ谷から全く地縁血縁もない三鷹市に引っ越して、兄・川井捷一郎（ジャグラ相談役）が 27 歳のときに、文伸印刷所を設立したのが始まりです。兄を父母が支えて、謄写・タイプライター印刷を主体とする家族経営の軽印刷業として創業しました。

この近辺に大学が多いものですから、学校関係をはじめ、役所や公的団体など、地域の顧客を主要な得意先としております。最近では印刷だけでなく Web や映像などにも対応して、顧客のニーズに応えています。特に記念誌や自費出版を得意としています。

名刺から何百ページもの印刷物まで、多岐にわたりますので、印刷から製本まで自社で一貫生産できる設備を整えています。男女比は半々、パートを含めて 40 人ほどの企業規模です。

——御社は 2015 年に GP 工場認定を受けていますがそのきっかけについて教えてください。

■有馬 2015 年は CTP を入れ替える時期だったので

が、色々なメーカーの機械を検討する中で、富士フィルムさんの現像レス・サーマル CTP を導入することになったのが、GP 取得のきっかけになりました。

——環境対応を推進するための組織は構築されましたか？

■有馬 最初は役員・管理職を中心とするグループを組織して、危険物の注意喚起などの表示・掲示物作成から運動を始めました。

——文伸さんの環境対策のテーマと特徴について教えてください。

■有馬 通常の「5S」活動に加えて、印刷機の「整備」の S を加えた「6S」としてこの 3 年ほど活動してきましたが、今期からは「スマイル」の S を加えて「BUN-SHIN 7S = 整理・整頓・清掃・清潔・習慣・整備・スマイル」を活動のテーマとしています。

——環境対策を推進するうえで、一番苦労したことは何ですか？

■有馬 今までしていなかったことを社員に習慣づけることに苦労しました。個人レベルの意識の問題になってきますので、誰かに言われて行うのではなく、自発的に環境対応に取り組むようになるまで、2～3 年は苦労したという感じです。

——環境対応はお金にならないという意見も聞きますが、御社が環境対応によって得られたメリットは何ですか？

■有馬 地域のお客様との取り引きが多いので、自分たちがどのようなことに力を注いでいるかを知っていただくた



創業時の社屋外観



謄写原紙を切る創業者・捷一郎氏（ジャグラ相談役）



軽オフを回す現社長の信良氏



めに、工場見学を積極的に受け入れています。そういった活動や日々の営業・SNSでの発信を通じて、環境対応が印刷物の付加価値であることをお客様に理解していただくことが最大のメリットだと思います。

■川井 環境対応は「私たちの会社はこうありたい」という当社の姿勢の表れです。「礼儀正しくあれ」というのと同じ位、基本レベルの話なので、そこに「お金の話」は関係しません。ただ、時代の流れに沿った行いであるというプラス評価はあるかもしれません。

それと GP 認定について言えば、それを取得してお終りではないのです。それを社会に広めてこそその認証制度であって、その実践こそが我々の使命であると感じています。

—— GP 認定申請書で一番アピールした点は？

■有馬 GP 取得以前より、三鷹市の工場認定を受けていたり、日々の清掃活動など工場全般の取り組みについてアピールしましたが、そこは評価されたと思います。また、申請にあたっては環境対策についての各部署のエビデンスが必要になるので、その記録はしっかり取っておきました。

——応募票を記入するに当たって苦労した点、難しかった言葉や内容はありましたか？

■有馬 申請する各社の事業内容によって、ピックアップする項目の選定や記入内容が異なるので、それを踏まえた資料を用意するのに苦労しました。

——環境対応を始めたいと考えているジャグラ会員へのアドバイスをお願いします。

■有馬 GP 認定についていえば、初回の講習を受ければ6割方、自分たちが何をすればいいか、そのアウトラインが見えてくると思います。

環境対応について言えば、ゴミの捨て方一つをとってみても、それをルール化して習慣づけるという活動を通じて、それ以外の業務にも良い影響が出てきます。例えば、次工程への受け渡しがスムーズになるとかですね。

自分一人では何もできないということに加えて、会社の雰囲気が変わった感じがします。例えば、この「7S活動の年間スケジュール（6ページ写真参照）」とか、いろいろな書類作成や提案・改善活動を自発的に行うようになってきました。

■川井 こういう認証を取得するということは一つの目標でもあるんですが、環境対応を進めるなかで、会社が変わっていくことを実感していますね。皆が自発的に行動するようになってきました。繰り返しになりますが、お金云々の話ではないのです。環境対応は「お金に換算できない」良いメリットを会社にもたらしてくれたと感じています。

——本日は様々な貴重なお話をお聞かせいただき、どうもありがとうございました。

（聞き手：綿貫勝男委員）

月刊
グラフィックサービス
No.807
2019
02

初心者のための ウェブマーケティング入門

第1回：ウェブマーケティングの重要性

ジャグラ事務局/Web担当 阿部奈津子



インターネットやスマートフォン利用率の拡大に伴い、ウェブは情報収集から商品注文まで、消費者の購買行動を決定づける重要な媒体となりました。このような時代において、ウェブを活用したマーケティングの必要性は感じているものの、いったい何から始めればよいのかわからず悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。本連載では、これからウェブマーケティングを始めたい方向けに、これだけは押さえておきたい基礎知識と、小さな会社でもマーケティングリサーチに活用できるウェブアクセス解析ツールの使い方を解説していきます。

×

ウェブマーケティングの重要性

経営者の皆様にとっては釈迦に説法かもしれませんが、マーケティングとは、「より多くの商品・サービスを売るための活動の総称」です。そのなかで、ウェブ、スマホやタブレットのアプリ、SNS（ソーシャルメディア）、デジタルサイネージ（電子看板）、IoT（Internet of Things）など、デジタルを駆使したマーケティング活動を“デジタルマーケティング”と呼びます。デジタル化が進む昨今、オフラインでビジネスが完結することは少なくなっており、「マーケティング=デジタルマーケティング」といっても過言ではなくなりました。

また、デジタルマーケティングのなかで、「ウェブサイトを中心としたマーケティング活動」を“ウェブマーケティング”と呼び、多くの企業が重きを置いて取り組んでいます。それはなぜでしょうか。



ウェブは企業活動の主軸

企業が自社サイトをもつことが当たり前の時代となりましたが、現在ウェブは単なる「オンライン版会社案内」から“企業活動の中心”へと変化してきています。なぜなら、商品や発注先の選定を行う際、インターネットで得た情報を最終判断の材料にする人の割合が、大きく増加しているからです。売り手が発信する情報はもちろん、ユーザが投稿した商品口コミが購入につながるケースも少なくありません。一方で、一社員の何気ない SNS 上の投稿が、企業自体の信用を大きく脅かすケースも増えてきました。このように、もはやウェブ上の企業活動を実社会での企業活動と切り離して考えることはできなくなっているのです。

ウェブマーケティングを恋愛に例えると

自社のサービスを利用してもらえるよう、お客様にアプローチをかけていくことをマーケティングと呼ぶなら、一連のマーケティング活動は恋愛でのアプローチとよく似ています。恋愛に例えると、ウェブマーケティングはどのような役割を担っているのでしょうか。

ウェブサイトの初回訪問は初デートのようなもの

「世の中には星の数ほど男と女がいる」と言われますが、出会ったターゲットにいきなり交際を申し込んでも、成功する確率が低いことはご理解いただけだと思います。まずは初デートでターゲットに「もう一度会ってみたい」と思ってもらうことが重要です。ウェブマーケティングもこれと同じで、星の数ほどの会社とお店があるなかで、運良く自社のウェブサイトにとどり着いたお客様に、もう一度自社サイトを訪れていただくための施策を考える必要があります。

ウェブサイトの見た目は身だしなみ

初めて会った時、相手の服装を見て「アリかなシカ」を判断する女性も多いのではないのでしょうか。人を見かけで判断すべきではないという意見もありますが、不快感を与えない最低限の身だしなみは整えるべきです。サイトデザインも一

緒で、初めて訪問した時に「見づらい」「センスが悪い」「使いづらい」と思われてしまうと、リピートしてくれる確率は格段に低くなってしまいます。

ウェブサイトに掲載されている情報は会話

有益な情報をもたらしてくれる人、相手の意図を汲んで上手に受け答えできる人は、多くの人から好感を持たれ、信頼されます。対して、相手が投げかけてきた質問にとんちんかんな返答をする人、つまらない話ばかりする人のもとには人が集まりません。ウェブサイトで発信される情報もこれと同じで、ターゲットが必要とする情報が掲載されており、しかも容易にその情報にたどり着けるようなサイト構造を用意する必要があります。

メール配信、リマーケティング広告はデートのお誘い

もう一度会ってもらうためには、初デートの印象をよくするだけでなく、次の約束につなげるべく相手とコミュニケー

ションを取り続ける必要があります。この時、相手に不快感を与えるようなやり取りをしてしまつては逆効果です。相手の趣味嗜好を引き出し、どのようにアプローチすれば次のデートの誘い（＝サイトに再訪してもらう）に応じてもらえるか、作戦を練らなくてはなりません。ウェブマーケティング上では、資料請求に対するフォローメール、読みやすく有益な情報が書かれたメールの定期配信などが挙げられます。また、ウェブではサイト訪問者に繰り返し広告を配信する「リマーケティング広告（リターゲティング広告ともいう）」というものがあります。このリマーケティング広告ば“追跡型広告”と呼ばれ、不特定多数のユーザーに対する広告とは異なり、自社サイトを1度でも訪問したことがある人（＝潜在顧客）にターゲットを絞って自社サイトに誘導する広告を表示できるため、現在注目されています。

つづく

ウェブマーケティングを恋愛に例えると...!?

- ◎身だしなみ …………… サイトの見た目
- ◎会話の内容 …………… サイトの情報
- ◎デートのお誘い …………… メールフォロー等



**会費値下げで
一層ご利用しやすくなりました**

取引先との
トラブルを、
解決したい！

個人情報保護
の覚書って、
どう書くの？

専任弁護士を
雇う余裕は
無いしなあ...

基本契約書の
内容チェック
どうしよう？

5万円/年 → 2万円/年

法律相談ネットワーク

ほうしんかい

「グラフィックス法親会」のご案内

皆で入ろう、困った時のために！ いつでも気軽に相談できる、皆の法律専門家！

何かと相談事・悩み事の多い時代を迎えています。特に最近は経営上の係争が多く発生していますが、このような問題に直面したとき、気軽に相談できて、アドバイスをもらえる「顧問弁護士」が身近にいればなにかと心強いものです。しかし顧問弁護士料は普通最低でも 50 万円以上（年額）かかるといわれており、中小企業にとってその費用捻出は非常に困難です。

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」は、「会費制によって、いつでも相談にのっていただける身近な顧問弁護士を持つ」というジャグラ会員有志のグループです。現在、専任としてお願いしている今西一男弁護士は、印刷業界に造詣が深く、これまでも様々なご相談に対応していただいております。経営の難しい時代、身近な法律相談ネットワークとして、出来るだけ多くの仲間に参加していただき、この会を育てていきたい所存であります。つきましては入会のご案内を申し上げる次第です。皆様のご参加をお待ちしております。



法親会・会長 添田隆男（株式会社サンライズ / ジャグラ 18 代会長）

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」の概要

- | | | | |
|--------|---|--|--|
| ● 専任 | 今西一男 弁護士 | ● 事務代行（入会申込先・問い合わせ先） | |
| ● 会費 | 20,000 円 / 年（税別）
※年度途中入会は月割換算（年度末 12/31） | 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・事務局 | |
| ● 会員特典 | ① 無料相談（随時）
※ 遠方の場合は電話・ファクスで対応
② 情報交換会（適時開催） | 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 〒103-0001
電話 03-3667-2271
ファクス 03-3661-9006 | |

入会申込書

申込日 20 年 月 日

fax.03-3661-9006

フリガナ	フリガナ
社名	氏名 印
〒	
Tel	Fax E-Mail

月刊
グラフィックサービス
No.807
2019
02

お知らせ

ガイドラインが公表されました！

消費税率の引上げに伴う価格設定について

内閣官房・公正取引委員会・消費者庁・財務省・経済産業省・中小企業庁

今年 10 月 1 日より消費税が 10%に上がる予定になっていますが、内閣府は去る 1 月 9 日に下記のお知らせを公表しました。

×

平成 31 年（2019 年）10 月 1 日から、消費税率の引上げが実施されます。平成 26 年 4 月の消費税率引上げの際は、税率引上げ時に様々な物・サービスの価格が一斉に上昇し、引上げ前後に大きな駆け込み需要・反動減が発生しました。こうした経験を踏まえ、昨年 11 月、政府において「消費税率の引上げに伴う価格設定について（ガイドライン）」が取りまとめられました。このガイドラインでは、消費税率の引上げ時の価格設定に関して自由な価格設定が原則であるという考え方のほか、小売事業者による宣伝・広告の表示の仕方や、適正な価格転嫁の確保などについて示されています。

公益法人の皆様方におかれましても、消費税率の引上げに伴う準備に当たりましては、このガイドラインを御参照いただくようお願いいたします。ガイドライン掲載個所の URL 及びそれに関するお問い合わせ先は、次のとおりです。

■ガイドライン

◎政府広報オンライン

https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/keigen_zeiritsu/other/anteiteki.html#kensyo

◎内閣府ホームページ

<https://www.cao.go.jp/tenkataisaku/index.html>

■ガイドラインに関するお問い合わせ先

◎総論・広報について

内閣官房消費税価格転嫁等対策推進室
03-3539-2907

◎宣伝・広告（「消費税還元セール」、「今だけお得」等）について

消費者庁表示対策課 03-3507-8800（代表）

◎ポイント還元について

経済産業省商務・サービスグループ参事官室
03-3501-1511（代表）

◎適正な転嫁の確保について

公正取引委員会消費税転嫁対策調査室
03-3581-1891
中小企業庁取引課消費税転嫁対策室
03-3501-1511（代表）

◎総額表示について

財務省主税局税制第二課 03-3581-4111（代表）

◎便乗値上げについて

消費者庁消費者調査課 03-3507-9196

月刊
グラフィックサービス
No.807
2019
02

知ってましたか？「印青連体操 第一」インキのセット 紙捌きの運動♪……

印刷各工程の動きをひとつひとつ取り入れた準備体操

印刷産業青年連絡協議会（印青連）は、東京の印刷関連 11 団体青年部が、「仲間を作ろう!」をメインテーマに、勉強会や工場見学会、ビジネス交流会等を行っている団体で、現在、ジャグラ理事の原田大輔さん（株）グッドクロス）が会長を務めています。

事業の一環として昨秋 10 月 28 日に「大人の運動会」を開催しましたが、それを機に企画したのが「印青連体操 第一」で、印刷各工程の動きを取り入れた体操となっています。「全国・海外の印刷企業、関連する個人の皆さまをはじめ、多くの皆さまにご利用いただければと思っています。」とのことですが、YouTube では原田さんが率先してデモンストレーションしています。

「CTP 版のセット♪」「インキのセット♪」「紙捌きの運動♪」等々、楽しい号令とともに、ユニークながらも実用的なストレッチ運動

▼原田印青連会長（ジャグラ理事）自らデモンストレーション



となっています。映像はコチラ（<https://www.youtube.com/watch?v=SWo9afXZBWY> 上記 QR コードご参照）

東京グラフィックス新年会でも披露されたこの体操（24 ページ）。皆さんも一度トライしてみたいかがでしょう！

●印青連 HP <https://inseiren.com/>

※「大人の運動会」の楽しい模様もここからご覧いただけます

月刊
グラフィックサービス
No.807
2019
02

月刊
グラフィックサービス
No.807
2019
02

ジャグラ刊 印刷業界の個人情報保護ガイドブック第6版

2019年版

【ご注意！】会員へは1部無料配布済みです。複数冊ご入用の方のみご購入ください。

「個人情報保護法」が平成15年に成立し、昨年5月には大幅に改正され施行されました。同時に個人情報保護委員会から4つのガイドラインが示され、それに伴ってプライバシーマーク付与に係るJIS Q 15001:2017年版も平成29年12月に改定されました。

今回のJIS改正にあたっては、他のISOマネジメント規格文書との統一と改正個人情報保護法の定義に合わせる形で、ビッグデータ（匿名加工情報）の利活用、国外にある第三者への提供の制限、第三者提供におけるトレーサビリティの確保、要配慮個人情報の新設、といった時代のニーズを反映しつつ、個人情報漏洩等の事故事例の教訓も盛り込み、情報セキュリティの強化に対応しています。

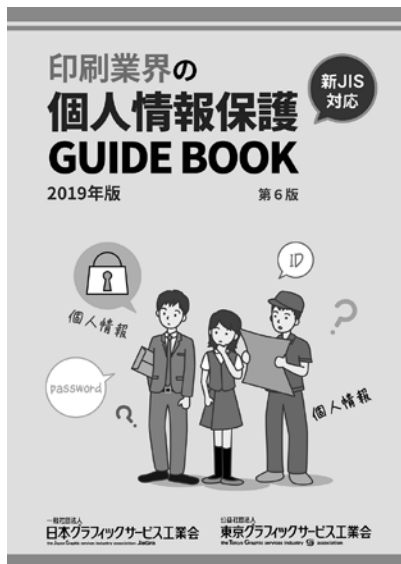
JIS改正のポイントは、ISO 27001:2013（情報セキュリティマネジメントシステム：ISMS）の要求事項との近接性が図られ、かつこれまでのJIS Q 15001：2006年版との整合性も取られています。また、プライバシーマーク付与の審査方式も本年8月以降の申請分から変更されています。

ジャグラ・東京グラフィックス個人情報保護委員会では、こうした個人情報保護の動向に沿って、平成30年6月に個人情報保護ガイドライン第3版を改定しました。そして、12月13日に「個人情報保護ガイドブック第6版」を発行しました。第6版は、昨年発行した個人情報保護ガイドブック（第5版）を引き継ぐ形となっており、その内容は、第1章でJIS Q 15001：2017年版改正のポイントとして、規格本文について、また2006年版と関

連した附属書Aの概要等に触れ、第2章ではジャグラガイドライン第3版の全文と、その項番に沿った解説を付けました。また第3章では、印刷業者が注意すべき安全管理措置について日印産連の協力を得て、組織的、人的、物理的、技術的安全管理措置をJIS附属書Cも参照して記載しました。加えて、エピソードとして、最近話題となっているクラウドサービス、標的型攻撃、クレジットカードの取扱い、スマホのセキュリティ、パスワードの変更といった課題も取り上げました。

個人情報の取扱いが顧客・消費者にとって関心が高まっている折、私たち印刷、情報処理・加工を業としている立場で、個人情報保護は正しい取得方法と運用を行うことで必ずや企業活動にプラスとなり、企業イメージを高めることとなりますので、会員企業におかれましては、本ガイドブックを利用されることを望みます。

ジャグラ会員へは1部配布済みですが、複数冊必要な場合は1800円（税・送料込）でお頒けしますので、下記書式にてお申込みください。



デザインのひきだし36

紙の文具&玩具のつくり方

グラフィック社

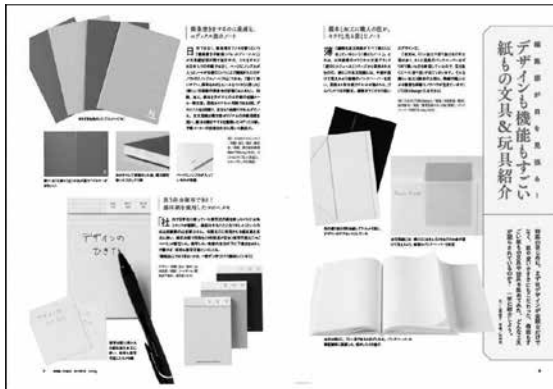
紙ものの文具に共通して使えるような製本や紙、加工の知識を、さまざまなトライアルとともに紹介する前半記事と、個々の紙ものの文具はどこでどんなものをつくってもらえるかという、具体的な情報まで網羅。また文具とはちょっと違うけれど、なかなかつくってくれるところを探し当てられない、紙ものの玩具も合わせてご紹介。

作字百景

ニュー日本もじデザイン

グラフィック社

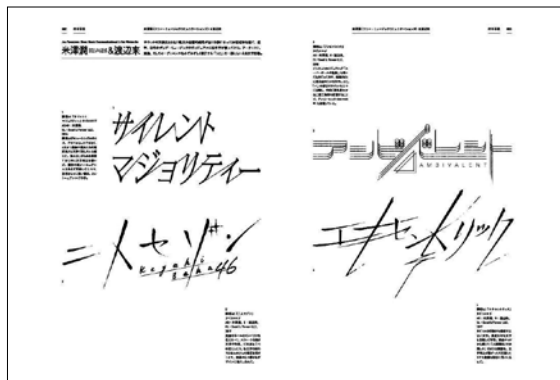
インディペンデントシーンやSNS上で注目される、「文字をかく」「文字を作る」ことからはじまる新世代のデザイン潮流を、気鋭のデザイナー40組、掲載点数約800点の作例で紹介。2010年代以降、手書き文字や文字のかたちを中心にしたグラフィックが若いデザイナーのあいだで大きく注目されてきた。また、SNS上では「作字」と呼ばれる、オリジナル



オリジナル文具やノベルティグッズとしても紙ものの文具をつくりたい、紙ものの玩具をつくりたい人に、今すぐ役立つ情報をまとめて、豊富な実物サンプル付録とともにしっかり紹介します！

●その他

体 裁：並製本、164ページ
発 行：2019.2.8



の文字デザインを投稿するジャンルが急速に盛り上がっている。筆書、描き文字、レタリング、書、江戸文字、グラフィティ、タイトルロゴなどさまざまな時代のスタイルを大胆に取り込み、アナログとデジタル、表現と技術の枠組を越えて生

み出される、誰も見たことのない文字デザインの世界を初集成。

●その他

体 裁：並製本、274ページ
発 行：2019.2.8

印刷業界の個人情報保護ガイドブック 第6版 頒価 1800 円（税・送料込）

申込書にご記入のうえファクスしてください。請求書同封で本書をお送りしますので、代金を指定口座にお振り込みください。（振込手数料はご負担ください）

申込先 **Fax.03-3661-9006**

社名				所属	
住所	〒				
Tel		Fax		E-mail	
氏名					購入冊数

冊

あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

特長1 掛金が割安です（例：30歳男性、1口277円/月）

特長2 死亡時保障額は最高1600万円

特長3 事故による入院もワイドに保障

特長4 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます

特長5 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラ事務局・酒井まで

Tel.03-3667-2271

月刊
グラフィックサービス
No.807
2019
02

月刊
グラフィックサービス
No.807
2019
02

ジャグラ

各地で新年会が開催される

●北海道支部

1.10 合同新年交礼会ひらく

1月10日、札幌グランドホテルにて、印刷関連業界の新年交礼会が、北海道印刷工業組合やジャグラ北海道支部のほか、製本・シールなどの関連組合員約300名が参加して開催されました。

下ばかり見ないで前を見ていこうという前向き指向の発言が多いようでしたが、酒宴の勢いをなんとか実態に反映させたいという思いで会場を後にしました。北海道は自然をテーマとした観光に力を入れています、昨年の北海道胆振東部地震以後インバウンドが落ち込んでおり、なかなか元に戻りません。北海道の歴史はようやく命名後150年、売り物も少ないのが現状です。いやいや東京だって150年だろと思ながらも、それより街の中の山のような雪をどうにかしてほしいと思っている今日、立春です。

(文：渡辺地協会長)

●京都府支部

1.11 合同新年互礼会ひらく

1月11日、ANAクラウンプラザホテル京都において、京都府印刷関連団体協議会の7団体合同新年互礼会が開催されました。当日は京都の印刷人や賛助会員・来賓はじめ、今年から箔押業組合様も加わり、総勢280名での開催となりました。本年度はジャグラ京都府支部が担当組合となり、会の運営に当たりました。

(文：青倉一人)

●山梨県支部

1.11 新年会ひらく

1月11日、ホテルクラウンパレス甲府にて、新年会を開催しました。当日は、(株)リコージャパン山梨さんのご協力により、「採択事例から考えるものづくり補助金のポイント」というテーマで、(株)GIMS 中小企業診断士・實積昌彦さんのセミナーも実施しました。

参加者は、山梨県印刷工業組合理事長、Y-ING 山梨情報メディア研究会(緑友会) 幹事長を来賓に招き、23名程で行われました。セミナーでは、皆さん聞きながらメモを取り、懇

親会では楽しい会話が弾んでいました。

(文：樋貝浩久)

●富山県支部

1.11 新年会ひらく

1月11日、富山市内・電気ビルレストランにて新年会を開催しました。賛助会員・会員等10名が出席。今回は、初めて出席された方や久しぶりに出席された方などがいて、和気あいあいとした楽しい時間を過ごしました。

(文：花岡支部長)

●栃木県支部

1.17 賀詞交換会ひらく

1月17日、ヴェルヴィ宇都宮にて、栃木県印刷関連団体連絡協議会賀詞交換会を開催しました。この賀詞交換会は、印工組・資機材協議会・紙友会、そしてジャグラの4団体で毎年行っていますが、準備で年間4回位集まるので、結構皆仲良しです。交換会では、ピンクのベストで今年のジャグラ文化典栃木大会のPRも余念なく、印工組も大会のお手伝いをして頂けるのとの事で心強いです！FBでも紹介しています。

(文：宮本誠)

●岩手県支部

1.18 合同新春講演会・新年交賀会ひらく

1月18日、花巻市の花巻温泉ホテル千秋閣にて、17年ぶりにジャグラ岩手県支部と岩手県印刷工業組合が合同で、新春講演会・新年交賀会を開催しました。

最初に(公社)日本印刷技術協会・藤井建人氏が、「地域活性ビジネスの取り組み方と各地の事例」というテーマで講演会を開催。50名の参加者は、講義を真摯に拝聴、質疑応答も盛り上がり、有意義な時間となりました。

続いて新年交賀会が、向井ジャグラ理事の司会により74名の参加を得て開催されました。岩手県印刷工業組合・齋藤理事長の挨拶、来賓の高橋ひな子衆議院議員・福井せいじ岩手県議会議員・ジャグラ沖専務理事による祝辞、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ・藤嶋常務執行役員の乾杯で祝宴に入りました。参加者一同が情報交換・懇親を深め、関連業者様のご紹介、民舞の余興などもあって大いに盛り上がりました。そしてジャグラ菅原支部長の感想を交えた中締めでお開きとなりました。

(文：向井一澄)



【京都】 新年互例会参加団体代表者の皆さん



【栃木】 上段：賀詞交歓会での記念撮影 下段左：鏡開き
下段右：ピンクベストで文化典をPRする宮本支部長



【千葉】 挨拶する尾形支部長

●千葉県支部

1.18 合同新年互礼会ひらく

1月18日、京成ホテルミラマーレにて、ジャグラと千葉県印刷組合による合同新年互礼会を開催しました。平成最後の互礼会ということもあり、80人の会員・賛助会員が集まり、平成元年の流行語大賞が「セクハラ」であることや補助金の話など、沢山の為になる話を聞きながら親睦を深め、余興のビンゴ大会や、食事やお酒などを楽しみました。

(文：熊谷英幸)

●福島県支部

1.18 合同で2019新春の集いひらく

1月18日、ホテル辰巳屋にて、福島印刷工業組合と合同で2019新春の集いを開催しました。



【山梨】 新年会 乾杯の瞬間とセミナーの様様 (枠内)



【岩手】 上段：祝宴の様様
下段：岩手県支部の皆さんと沖専務



【福島】 2019新春の集い 円内は挨拶する伊東支部長

当日は福島印刷工組理事長と伊東ジャグラ支部長が主催者挨拶(写真)、来賓ご祝辞、乾杯をして開会。来賓・賛助会員のほか、印刷工組・ジャグラ会員等150名余りが参加し、繁栄の手締めにて散会しました。

(文：伊東邦彦)

●長野県支部

1.19 講演会・新年祝賀会ひらく

1月19日、ホテルメトロポリタン長野にて講演会・新年祝賀会を開催しました。新年会は、佐野支部長挨拶、来賓として笹岡誠ジャグラ理事・東京グラフィックス副会長と印刷工組理事長が祝辞を述べ、来賓・賛助会員の紹介に引き続き、製本工組理事長の乾杯の発声にて懇親を深めました。



【愛媛】 上段：新年交歓会の模様と挨拶する森支部長（円内）
下段左：来賓の塩崎衆議院議員 下段右：乾杯



【山形】 新年会 山形県支部の皆さんと影山先生（中央）

●愛媛県支部

1.20 新年交歓会ひらく

1月20日、ネストホテルジャパン松山にて新年交歓会を開催しました。開会の挨拶後、衆議院議員塩崎恭久氏、愛媛県印刷工業組合会西原透理事長の来賓挨拶に続き、賛助会員の一誠社坂入聖二社長による乾杯で開宴しました。

宴会では賛助会員を含め、愛媛の組合員がそれぞれ抱負を熱く語り合いました。また10歳の少年歌手宇都宮聖の天才的な歌唱や、ピンゴゲームなどもあり大盛況の中、権名津仁志前副会長の中締めで散会となりました。その後の二次会にもほとんどの人が参加するほどの大盛況で終わりました。

（文：森支部長）

●東京グラフィックス

1.21 新春賀詞交歓会ひらく

1月21日、上野東天紅において新春賀詞交歓会を開催しました。参加者は来賓合わせ230人。交歓会冒頭、菅野会長による挨拶、小池東京都知事のメッセージ代読、来賓・ジャグラ中村会長、日本印刷産業連合会・杉村玄一郎専務による祝辞、出席いただいた東京都議会議員の紹介がありました。

その後、ビジコン2018!表彰式が行われ、東京都知事賞として齋藤秀勝氏（㈱文化ビジネスサービス）、産業労働局長賞として坂井智美氏（㈱研美社）が、東京都産業労働局商工部の川崎秀和課長から表彰状が授与されました。また、審査委員長賞として大塚宜輝氏（㈱東京商会）が、高橋晋平審査



【東京】 上段：ビジコン表彰者の皆さん
下段左：鏡開き 下段右：印刷体操の披露

委員長から表彰状が授与されました。東京グラフィックス会長賞は武川優氏（㈱緑陽社）、後藤裕太氏（㈱イナミツ印刷）のお二人が受賞し、菅野会長から表彰状が授与されました。

その後、新入会員の紹介、鏡開きが行われ、日本印刷機材協議会・幅和弘会長の発声で乾杯、懇親会に移りました。

懇親会は、東グラ青年部FACEも加盟している都内印刷団体青年部の集まり「印刷産業青年連絡協議会（原田大輔会長）」が発案した「印青連体操 第一」（14ページ参照）の披露などで大いに盛り上がり、笹岡副会長の中締めで散会しました。

（文：事務局・吉野玲緒）

●山形県支部

1.25 新年会ひらく

1月25日、地元・東北芸術工科大学講師・影山史枝先生をお招きし、新年会を行いました。会員だけの小さな集まりでしたが、影山先生の芸工大今年度最終講義に合わせ開催し、最近の業界情勢や技術動向・page2019の見どころ等、ホットな話題をお話いただきながらの和やかな会となりました。来年以降も影山先生の芸工大最終講義に合わせる形での新年会の定着を考えております。

（文：後藤卓也）

ジャグラ

各地・各グループの近況

●中国地協

中国地方協議会の会員数は2019年1月月末現在23社と決して所帯は大きくありませんが、会員企業一社一社が各地で切磋琢磨して頑張っています。役員は田中山口県支部長と土師岡山県支部長、山本広島県支部長と坂本監査（広島県支部）と藤沢監査（岡山県支部）と宮崎地協会長で組織してい

ます。中国地方協議会の年間スケジュールは5月の総会（各地持ち回り）10月と1月の理事会と4月の監查理事会を開催しています。数年前からまずはお互い知り合おうと各県支部長と監査のかたの日程を調整して出来るだけ皆が集まれる日に会議を開催しています。とはいえ会議よりも、その後の懇親会が大事であるということは間違いありません。そのように回数を重ねることにより最近では意思疎通も早く会の運営がスムーズになってきました。

その理事会には昨年よりSPACE21の中国地方代表幹事である山本会長や本部委員会に出向している瀬尾会員などオブザーバーで出席してもらい広く情報を共有するようにしています。

●四国地協

四国地方協議会は年4回、各県持ち回りで理事会を開催し、当番県は会員全員参加を目標にしています。2月23日には、香川県支部担当で、今年度3回目の理事会を高松市にて行います。議題は2020年全国総会・ジャグラ文化典の件、各県の状況報告、ジャグラ本部報告等が話し合われます。

研修会は「わかりやすい中小企業の事業承継問題とM&A」の講演会を行い、後に懇親会を行う予定です。また、前回、愛媛県支部で開催した理事会でお願いした会員増強の件では、高知県支部で1社入会の予定となっております。

（文：中越地協会長）

●マスターズクラブ

1月24日、東京グラフィックス悠遊クラブと、ジャグラのマスターズクラブ合同で、東京国技館において開催中の大相撲初場所の観戦をしました。20名参加。当日は初場所の12日目とあって熱気ムンムン！土俵の力士に届くよう、観客も一戦ごとに耳を劈くような、熱のこもった応援合戦を行っていました。

遠く力士の故郷よりバスを連ね、横断幕をかかげ応援する姿に郷土愛を感じながら、私たちも応援合戦に加わりました。結びの白鳳VS玉鷲戦は、前日に続いて横綱に土がつき、座布団の飛びかう取り組みとなりました。国技館の団体席の先行予約も容易ではなく、受付開始日とともに全て完売となって



しまうほどの盛況ぶりでしたが、今回は何とかキャンセル待ちで確保でき、宝くじの当たったような気分でした。

（文：井上富美子）

計 報

東グラ名誉会員 木下幸彦氏が昨年8月に逝去

㈱みづほ（東京・城東支部）創業者、東京軽印刷工業会（当時）元常任理事・相談役、日本軽印刷工業会（当時）元常任理事・相談役である木下幸彦氏が、昨年8月に逝去されました。



公益財団法人王子法人会提供

氏は、早稲田大学雄弁会から国会議員秘書を経て、昭和37年北区田端で印刷会社「みづほ企業」を創業。東京軽印刷工業会に入会。昭和46年に常任理事就任、昭和63年から平成21年まで相談役、以降、現在まで名誉会員。日本軽印刷工業会では昭和51年から常任理事、昭和57年から相談役を歴任されました。

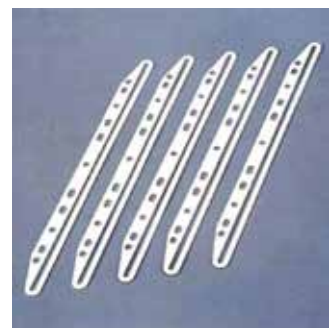
昭和50年からQブリントの軽印刷業への参入に危機感を覚えた当業界の急先鋒として、㈱さとう印刷社・佐藤公彦氏（元日軽印会長）と二人三脚で反対運動を牽引され、昭和52年には中小企業の権益擁護のために「中小企業事業分野確保法（分野法）」の成立に尽力され、同時に中小企業事業分野確保協議会（分野協）を設立され、業界の地位向上に力を尽くされた功績は大きいものであります。

【ご案内】 本誌保存のための「2穴パンチガイド」を表4に付けました

本誌を保管したいので、予め2穴の孔をあけて欲しい旨のご要望をいただきました。編集部にて検討の結果、デザイン上のご側の余白を広げられないこと、スポンサー広告で裁ち落としのものがあること、製作経費が限られていることなどの理由により、ご要望にはお応えできない結論にいたりましたが、皆様方ご自身でパンチする際のガイドとして、表4右部の天地中央に白線のガイドを設けるデザ

インに変更しましたので、ご活用いただくとともに、ご了承いただきたくお願い申し上げます。また、パンチ穴を開けなくても、本誌をファイリングできる製品（商品名「マジクリップ」5本で300円程度、写真）もあるようですので、それらをご活用するの一手だと思っておりますので、ここにご紹介しておきます。

編集部



シリーズ 需要創出を考える⑬

印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラ会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探る本シリーズ。第13回目は今年のジャグラ作品展受賞企業の中から、岩手県支部・トーバン印刷株さんの事例をご紹介します。

事例14 作品展 / 業務用印刷物部門 日本印刷機材協議会会長賞受賞

図録の価値を考える 地域の歴史を紡ぐ印刷会社の役割

～遠野市立博物館特別展『伊能嘉矩と台湾研究』図録ほか～



トーバン印刷株(岩手県支部)
佐藤 和 恵

図録と一緒にチラシやポスターも制作

このたびジャグラ作品展の業務用印刷部門において「日本印刷機材協議会会長賞」をいただきました。作品展のレベルが年々上がり、創意工夫や技術が求められるなか、評価していただけたことは大変光栄に思います。

作品の経緯としましては、岩手県遠野市出身の人類学者・民俗学者である「伊能嘉矩」生誕150年記念事業の特別展として、遠野市立博物館様より受注・制作した作品です。図録の他、チラシ・ポスターといった関連する印刷物にも携わらせていただきました。

「伊能嘉矩」の人物像をまず勉強！

図録は、伊能嘉矩の業績の中から台湾研究の成果を中心に、当時の種族の写真やスケッチ・書簡をはじめ、調査資料や国立台湾大学で所蔵する資料を収めたものです。

作業を進めるにあたり、まずは展示会のテーマでもある「伊能嘉矩」の人物像を知ることから始めました。自分自身が理解していないと全体の構成や内容に説得力を与えられないと感じたからです。生い立ちや功績を知り、図録として全体のイメージを膨らませていきました。

入稿に関しては、お客様がこれまで図録作成に携わってきた経験者であったため、原稿やページ割付が明確な状態で作業に取り掛かりやすかったことを憶えています。これは編集をするうえで非常に理想的な状態でした。

素材をいかに組み立てていくかは、弊社にデザインを任

せていただきました。

ポジフィルムのスキャンや補正に苦労

内容はすべてカラーページで、デザインや文字組み・余白の取り方といった見せ方が問われるため、イメージがお客様と合致したものになっているか、独りよがりなデザインになっていないか等、意思疎通を図りながら進めていきました。

当時の資料はポジフィルムが多く、スキャニング・補正・トリミング等の作業で時間を費やしました。当時の写真なので解像度不足をいかに目立たなく自然な状態で見せられるかが課題でした。それには色を多用せずに写真の色調を活かして全体をまとめていきました。印刷でも色合いや着物の生地といった質感を潰さないよう気を配り、品質の良い状態で仕上げられたと思います。

展示会は台湾でも開催！

この展示会は岩手県と台湾の2か所で開催されたと聞いています。図録はすべて日本語で記されているため、国内が主な対象ではありますが、国内外の歴史を紡ぐ地元の偉人を紹介する印刷物の発行に携わり、弊社の名前が入った奥付を眺めると安堵の想いでいっぱいです。

これからもお客様に満足される商品を目指し、地域に根ざしてできること見つめながら、よりよい製品づくりに精進していきたいと思っています。



Column 全業務を「見える」化して生産性向上

e-中小企業ネットマガジンVol.833より転載 (http://www.chusho.meti.go.jp/e_chusho/index.html)

北海道北広島市の工業団地に年間数百件を超える見学者が訪れる金属加工会社・ワールド山内がある。1万9520㎡の敷地内にある4工場には板金や切削加工から溶接・組立まで100台を超える金属加工の機材がずらり。1日約4000点、高品質、短納期、低コストを合言葉に、月平均最大10万点もの製品を生み出す多品種少量生産で約300社の顧客の多様なニーズに対応する。同社は人手不足に悩む企業関係者の垂涎的だ。

6つの工程ラインはインターネットに接続され、24時間稼動している。製品を何時何分に誰がどんな作業をして何分間で完成させたかという加工情報がリアルタイムで自動的に蓄積され、履歴として残る。人の動きも工場内に設置されたウェブカメラが録画して画像解析システムで作業や作業に要した時間が分かる。

工程だけではない。図面管理、見積もり、営業管理、製造手配、生産管理、品質管理、会計まで、同社ではすべてのシステムがネットワークでつながり、社員全員がタブレット端末やスマートフォンで確認できる。全業務が「見える」ので営業担当が顧客の前で見積もり受注、納期などを即座に決めることができるなど仕事のロスタイムが少ない。

人が機械を使いこなすために、基準通りの手順を踏めば自動的に加工実績が取得できる機材の操作マニュアルも作った。だからパート従業員も機械に触れるし、いつ、誰が休んでも同じ品質のものができる。従業員の平均年齢は35歳。2割が女性だ。人手をシステムに置き換える取り組みを約20年前から進めてきた同社の山内雄矢社長は「いかに自動化し、記録を残し、利益を出すか。日本のものづくりが世界で戦おうと思ったら人件費では勝てない。設備と知恵です」と話す。「10年前の機械は消費電力も違う。入れ替えのサイクルが早いから減価償却の考えはありません」。設備は常に最新式を目指し、利益の8割を設備の拡充に回す。設備投資の累計は約60億円に上る。

2018年3月期決算の売上高は19億円。「10年以内に50億の売り上げを目指す」と意気込む山内社長は「最終的には人でなくてはどうしてもできない感覚的なものだけ残し、あとはみんなロボットに換えていく」と言う。「時代の変化に対応できる会社でないと生き残れない。ものづくり企業は作ってナンボの世界です。時代とともに変わっていくお客さまの要求に柔軟に対応するのが一番大事。これからも最新設備を使いながら人間の知恵を入れ込み、感動を与える製品を生み出したい」ときっぱり。

月刊『グラフィックサービス』807号

■発行日 平成31年2月10日(毎月1回)
■発行人 中村 耀
■編集人 早坂 淳
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
TEL 03-3667-2271
FAX 03-3661-9006
WEB <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経
済社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎原稿/編集/校正

沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
斎藤 成 (東京グラフィックス/広報委員)
藤尾 泰一 (南インフォ・ディー/広報委員)
日経印刷機 (校正のみ)

◎組版/デザイン (南インフォ・ディー)

組 版 = Adobe CS6/CC
フォント = モリサワ OTF (ほか)

◎印刷 日経印刷機(東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
CTP = 富士フイルム XP-1310R
刷 版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
インキ = DIC
用 紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
※本誌はFSC森林認証紙(管理された森林の木から作
られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用
い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2019 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。
また、原則 TM・®マークは省略しています。
※乱丁/落丁本はお取り替えいたします。



事務局日誌と今後のスケジュール

2019年1月 事務局日誌

- 7日 仕事始め、福岡県支部新年交歓会(アークロイヤルホテル福岡天神)→祝電
- 8日 新年挨拶→中村会長・東グラ菅野会長、委員長会議、拡大理事会、日印産連新年交歓会(ホテルオークラ)→中村会長ほか
- 9日 大阪府支部新年会(ウェスティンホテル大阪)→祝電
- 15日 Pマーク審査(広島)
- 17日 日印機工 年始会(東京プリンスホテル)→沖専務、広報部会、東印工組新年会(パレスホテル東京)→中村会長
- 18日 愛知県支部新年集会(ホテル名古屋ガーデンパレス)→中村会長、千葉県支部新年会(京成ホテルミラマーレ)→祝電、岩手県支部・印刷工業会合同新年会(ホテル千秋閣)→沖専務
- 21日 東グラ新春賀詞交歓会(東天紅上野本店)→中村会長・沖専務
- 22日 関東複写センター新春セミナー+新年賀詞交歓会(ロイヤルパークホテル)→中村会長
- 23日 ジャグラ BB 収録(都内)
- 24日 宮城県支部新年会(江陽ランドホテル)→祝電、日本印刷機材協議会新年互礼会(銀座クレストンホテル)→中村会長・並木事務局長
- 25日 神奈川県支部新年会(菜香新館)→中村会長・沖専務
- 28日 個人情報保護セミナー(日本印刷会館)
- 29日 Pマーク審査(徳島)

2019年2月の予定(2.10時点)

- 5日 Pマーク審査会
- 6日 PAGE2019 開会式(池袋サンシャインシティ)→中村会長・沖専務、M&A 部会
- 7日 ビジネス推進委員会・生産性向上部会・マーケティング部会、Pマーク審査(埼玉)
- 9日 ジャグラ文化典拠木大会実行委員会(ホテル東日本宇都宮)
- 12日 経営基盤強化委員会、ジャグラコンテスト専門委員会議
- 14日 Pマーク審査(福島)
- 15日 Pマーク審査(宮城)、CSR 委員会
- 16日 SPACE-21 幹事会(福岡)→事務局
- 19日 Pマーク審査(秋田)
- 20日 Pマーク審査(秋田)
- 21日 広報部会
- 26日 Pマーク審査(福岡)

2019年3月の予定(2.10時点)

- 5日 Pマーク審査(熊本)
- 8日 JIPDEC 審査機関会議(熊本)→斎藤成 P マーク審査センター長・事務局
- 12日 Pマーク審査(大阪)
- 13日 Pマーク審査(大阪)
- 18日 日印産連地方創生事業発表会(都内)
- 20日 Pマーク審査会、日印産連理事会→中村会長・菅野副会長
- 22日 拡大理事会

■最新スケジュールは公式 HP で!

ジャグラ関係の会議などのイベント日程の最新情報は、公式ホームページにてご案内しています(<https://www.jagra.or.jp/events/>)。Google カレンダーと連動していますので、ご自身のスマホに日程を取り込むことができて大変便利です。ぜひご利用ください。

|編|集|後|記|

木下幸彦元相談役が逝去されました。昨年8月の逝去だったそうですが、ジャグラ・東グラ事務局への連絡は年が明けてからだったそうです。記事にも記載していますが、氏は中小企業の事業活動分野の確保に尽力のあった方で、佐藤公彦会長(当時=株)さとう印刷社・東京・文京支部)とともに分野法の制定に大きな功績を残しました。分野法は、経済のグローバル化や、規制緩和の流れの中で過去のものとなりましたが、ジャグラの歴史の中では会員に成果が見えた活動の一つでした。これからもジャグラは会員のためになる活動を目指して参ります。(T.M)

2019年2月号 ジャグラBB HOT NEWS

今月のおすすめ番組

▶最新情報はWebでチェック! <https://www.jagrabb.net>



シリーズ経営と環境 日印産連 GPマーク普及準大賞受賞 株式会社文伸 訪問記

2017年・2018年に日印産連GPマーク普及準大賞を受賞した(株)文伸(東京・三多摩)を訪問し、同社川井社長、有馬工場長より環境への取り組みについてお話を伺いました。
時間:24分59秒 無料番組



知らないと損をする Photoshopの仕事術(No.1~3)

①カラーテーマの変更と角度補正
②キャンバスの拡張と画像の切り抜き
③シャドウ・ハイライトとスマートオブジェクト
時間:①11分53秒 ②12分7秒 ③10分57秒
会員限定番組



「ビジコン! 2018」入賞作品プレゼンテーション

東京グラフィックス主催「ビジコン! 2018(ビジネスアイデア・コンテスト)」入選者による「ファイナル・プレゼン大会」の模様をお届けします。各社の創意あふれるアイデアをご覧ください。
時間:1時間15分17秒 無料番組



知らないと損をする Illustratorの仕事術(No.3~4)

③ライブシェイプとグローバルカラー
④Illustrator CC 2019新機能・強化点(1)(2)
時間:③8分11秒④(1)15分28秒(2)12分43秒
会員限定番組



ビジネスマッチングサロン2018(第4回)

東京グラフィックスで開催しているビジネス交流会での各社プレゼンテーションの模様を皆様にお届けします。各社の強みを活用し合うことで、大きなビジネスにつなげていきましょう!
時間:46分17秒 無料番組



知らないと損をする InDesignの仕事術(No.1~2)

①次のスタイルと自動番号
②データ結合(変数)
時間:①8分14秒 ②10分59秒
会員限定番組

動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」「インサツノオト。」で配信する投稿映像を募集しています。自社で編み出した仕事の裏ワザ、自慢の印刷機を動画で紹介してみませんか? 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。

ワザコレ!動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。
応募先メールアドレス:jagrabb@jagra.or.jp

スマホで
撮影した動画も
受け取ります!



スマホで簡単登録&視聴! ジャグラBB 新規ID登録はこちらから
https://www.jagrabb.net/app_mail.php

